



夏目漱石第6旧居の 利活用について

令和6年（2024年）6月3日（月）

熊本市文化市民局 文化創造部 文化財課

目的

市が保有する夏目漱石の第3旧居と第5旧居は、記念館として保存・活用をしているが、令和5年度に取得した第6旧居の活用方法は未定である。

第6旧居は他の旧居とは違う自由度の高い活用方法について、民間からのご意見をいただきたい。

現状と課題

熊本地震やコロナ禍を経て、文化施設やイベント等への客足も以前の水準までには戻りきっておらず、文化や観光に親しむ機運が低下している現状である。また、熊本県内には「夏目漱石」に所縁の土地や建物が豊富に存在するものの、所管する自治体等の連携も薄く、十分に活かすできていない。

夏目漱石旧居の位置



第5旧居

- ・漱石居住当時と同じ場所に現存し、一般公開されているのは現在ここだけ
- ・入館者数は熊本市が所管する記念館のうち最多



五高記念館
漱石・八雲教育研究センター



漱石の銅像



第6旧居

令和5年度に熊本市が取得した
夏目漱石の熊本第6旧居



第3旧居

大江にあったものを
現在地に移築

一般公開中

くまもと文学・歴史館

漱石は熊本に居住した4年3カ月の間、5回引っ越しをしており、そのうち3か所の旧居が熊本市に現存

夏目漱石第6旧居の概要



門扉

施設の延床面積	157.65㎡
建物の構成 (構造、階数)	木造瓦葺2階建 1階 125.15㎡ 2階 32.50㎡
懸案事項	・明治期の建物であるため耐震改修が必要。 ・階段、排煙設備、非常用照明等、建物の用途や改修内容により対処が必要。

【特徴】

- ・ 在熊中最後に住んだ家で、この家からロンドンへ留学
- ・ 書斎として使用していた2階の部屋は当時のまま保存
- ・ 建築前の土地は文学精舎（私立学校）跡
- ・ 令和5年度に熊本市が取得したばかりのため改修が必要
- ・ 平成23年まで住居として使われていた



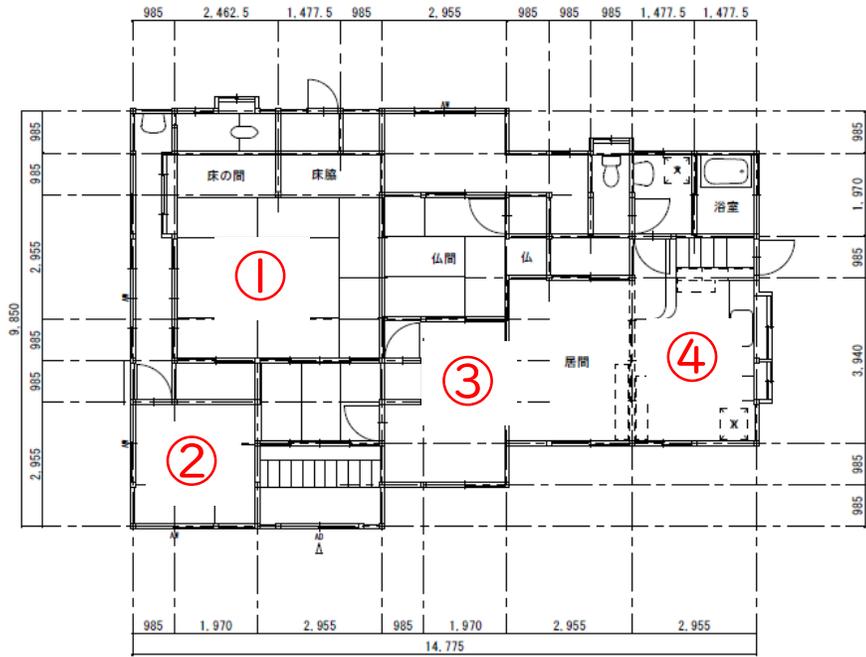
外観

漱石は第6旧居の2階を
気に入っていたとの
エピソードがある



夏目漱石第6旧居平面図

1階 125.15㎡



④台所



⑤書齋 8畳



2階書齋から見た庭



①座敷 10畳

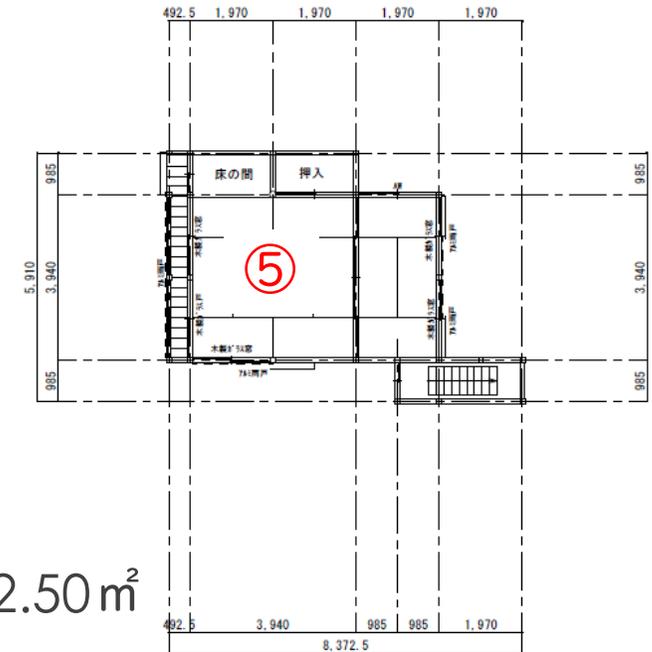


②茶室 4畳半



③階段

2階 32.50㎡

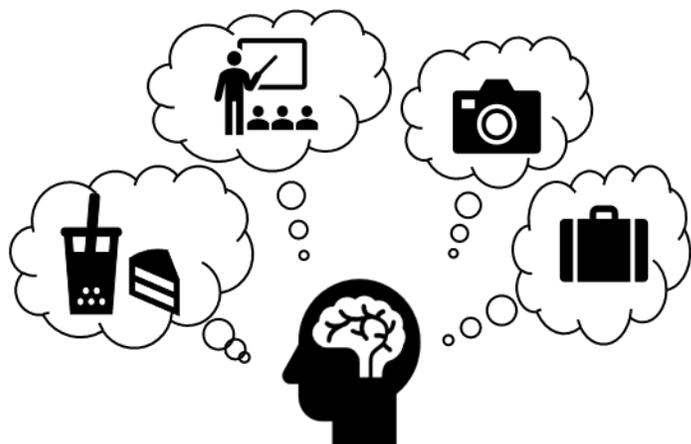


活用の方向性

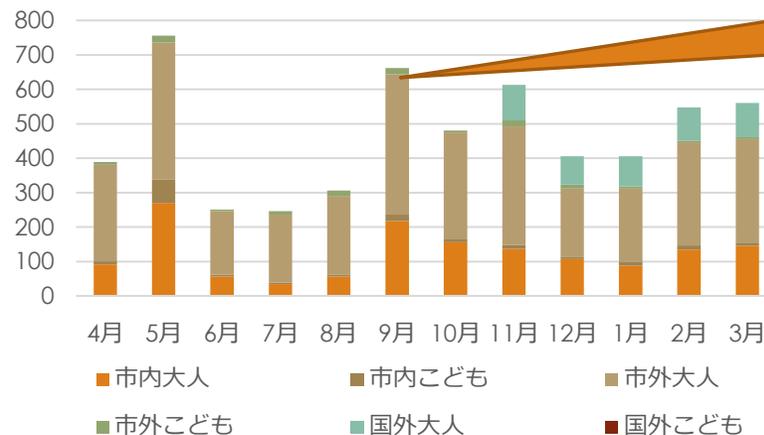
★第3旧居と第5旧居との差別化

熊本市に現存する旧居のうち、第3旧居と第5旧居は現在、記念館として一般公開している。

第3旧居と第5旧居は、自主事業等による集客や漱石ファンによる一定数の来館は見込めるが、より多くの方に「漱石文化」に触れてもらうためには、漱石ファン以外の取り込みも必要と考えている。第6旧居については、他の旧居とは違う自由度の高い活用を目指す。



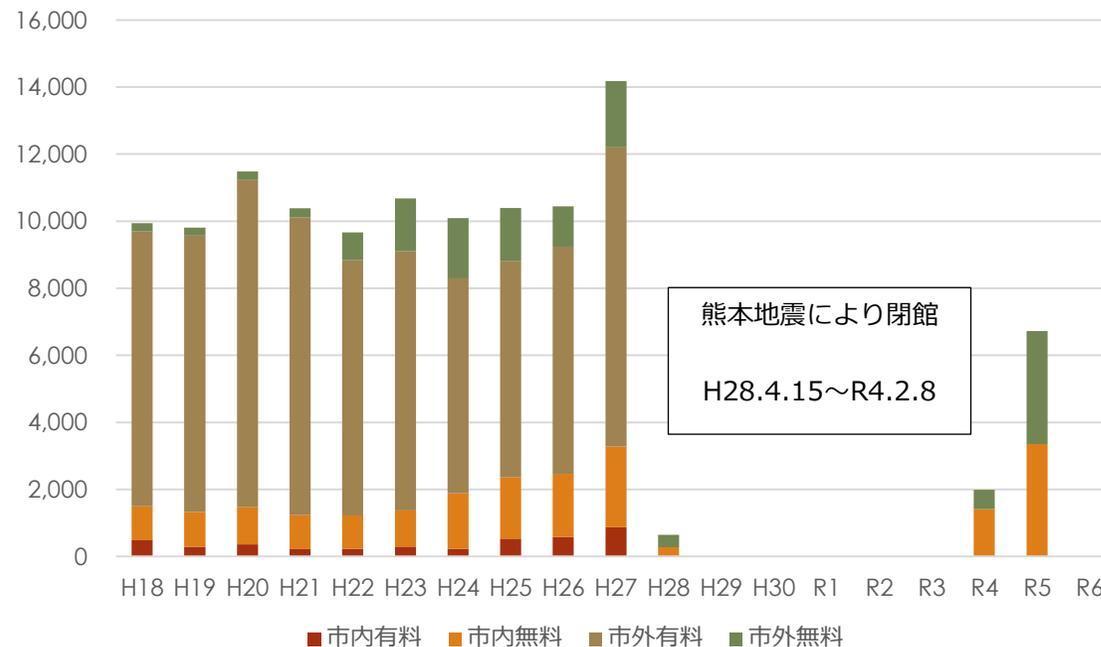
【令和5年度 第3旧居入館者数 5,624人】



9月にジェーンズ邸が一般公開され入館者数増



【第5旧居入館者数の推移】



熊本地震により閉館
H28.4.15~R4.2.8

★ターゲットの絞り込み

「漱石文化」を次世代に継承するためにも、若い世代に関心を持ってもらうような活用方法を検討する。

また、若い世代はSNSを利用しているため、効果的な情報発信が期待できる。漱石所縁の熊本大学も近くにあるため、大学生が気軽に立ち寄れる空間から県内外へ情報発信の場としたい。



★地域の理解と連携

第6旧居の場所は藤崎八幡宮の参道から北へ80メートル入った住宅街にあり、近くに碩台小学校、子飼商店街がある。そのため、活用方法には地域住民の理解と協力が必要となる。商店街も近いことから、競合するのではなく、連携できるような活用が求められる。



★保存すべき場所と活用する場所の棲み分け

第6旧居は書斎として利用していた2階は当時のまま保存されており、また、漱石自身もその部屋が気に入っていたと言われている。そのような場所はできるだけ当時のままの状態を残し、1階部分を有効的に活用する場所として、棲み分けを行いたい。



★運営方法

第3旧居と第5旧居は、熊本市の文化財課が館長を会計年度職員として雇用し、直営で運営している。第6旧居については、一般的な記念館ではない運営を想定しているため、直営ではなく、指定管理者制度での運営を予定している。

対話項目

熊本市に現存する第3旧居と第5旧居と併せて指定管理をする場合、どのような利活用方法があるか？

民泊等の宿泊施設としては、消防法等の兼ね合いで困難であるが、飲食店など記念館以外の活用方法はどのようなものが想定されるか？

お問い合わせ先

熊本市文化市民局 文化創造部 文化財課

☎ 096-328-2740

✉ bunkazai@city.kumamoto.lg.jp